

市民のためのプログラミング入門講座

小学校でプログラミング教育が必須科目としてスタートしたのは2020年からでした。2021年から中学校で技術・家庭科でのプログラミングを応用した学習が取り入れられ、高校では「情報」が必修科目になり、全ての生徒がプログラミングを学ぶようになりました。2024年から大学で「情報」が入試の出題科目になります。

元来、プログラミングというのは、電子計算機(コンピュータ)を動かすための言語を書くことなのです。日本には昔からそろばんが使われ、計算尺や手回し計算機が出来て、やがて半導体が進化して電卓が日常使われるようになりました。

電子計算機は1946年に米国のノイマンが「電子計算機の理論設計序説」という本を書いて、2進数によるデジタル化プログラム内蔵型電子式計算機の原理を明らかにしました。これにより単純な乗除加減算の計算だけでなく、経済学や科学全般の複雑で膨大なデータを記録して取り扱い計算することができるようになりました。数字のデータのみならず文字のデジタル化とともに、図形、写真などの映像、動画や音楽もデジタル化してコンピュータが記録して処理できるようになりました。初期のコンピュータは、大学、研究所や大企業で使われる大規模な極めて高額なものでした。

1973年インテル社がマイクロ・コンピュータ i-8080 を開発、8bit の MPU チップでした。これにより急速に個人でも買うことができるようになり、手の上に乗せられるようなパソコンが世に普及しました。

コンピュータによる人工知能(AI)が、私たちの生活にどんどん入り込まれています。パソコンを簡単に使うことが出来る今、シニアも、もっとパソコンを自分たちの道具として使い、若い世代と情報を共有し合うようにしたいものです。

10月から始まる市民のための「プログラミング入門講座」は、パソコンを使って「論理的思考力を鍛えよう」というのがテーマです。ふるってご参加ください。

日立市教育委員会後援

市民のための
プログラミング入門講座

2022年10月～12月 3か月 6回の講座

論理的思考力を鍛えよう

世の中で起きていることや人の話をもっと論理的に理解したいと思っことはありませんか。本講座では、「スクラッチ」という、ブロックをつなげていくだけでキャラクターを簡単に動かすプログラミングにチャレンジします。その操作の中で論理的思考力を鍛えます。さあ、あなたはどんなプログラムに挑戦しますか。
本講座では、はじめてパソコンに触れる方でも学習できるように進めます。

講座内容	スクラッチでビジュアルプログラミング 毎回、様々なテーマでプログラミング	
講習期間	毎月/偶数週2回 土曜日 (開催日 10/8, 10/22, 11/12, 11/26, 12/10, 12/24 6回) 9:30～12:00	
講習会場	CNET パソコン教室(定員7名) パソコン持参しなくても受講できます。	
受講料	毎月 3,000 円/テキスト代は別途	

受講申し込み・問い合わせ連絡先
CNET(コミュニティNETひたち)事務所
火から金曜日 9時30分から16時まで事務所にて
電話: 0294-33-0015
メール: master@cnet-hitachi.com
CNETのホームページ



〒311-0201 日立市本町1-1-1
CNET 日立市本町1-1-1
CNET 日立市本町1-1-1